

次世代半導体デバイス開発の新技術、廣瀬全孝教授ら開発

現代のエレクトロニクスを支える半導体は、電子デバイスを作る上でも最も重要な材料であり、あらゆる産業に大きく寄与していることから「産業の米」とも呼ばれている。とりわけ、半導体集積回路の主要材料であるシリコンは、その中心的存在であり、これをいかに微細化が高精度に加工して、超高密度に集積回路を作れるかが、コンピュータの情報処理能力を決定する大きな要因であると言つても過言ではない。

このため、従来、集積回路の高性能化には、トランジスタ等の電子デバイスの超微細化が大きな原動力となっている。

工学部の廣瀬教授と宮崎助教授らのグループは、既存デバイスの微細化の延長とは本質的に異なった「共鳴トンネル効果」と呼ばれる特殊な量子力学効果を常温で可能にしたシリコンデバイスの開発に成功し、八月二十六日から横浜市で開かれた「国際固体素子材料会議」で報告した。

報告の骨子は、次の二点にある。

①直径約一千万分の三 μ の半球状のシリコン単結晶粒を極めて薄いシリコン酸化膜で覆った構造を作成した。

②この構造の電気伝導特性において、特定の電圧で電気抵抗が約十分の一に減少する共鳴トネル効果を室温で確認した。

廣瀬教授は今回の新技術について、「従来、液体窒素温度(77K)以下で動作するデバイスは開発されていたが、室温で明瞭な共鳴トネル効果が確認できたのは世界初。このデバイスをシリコン集積回路と一本化することによって、新しい情報処理機能が実現され、コンピュータの情報処理能力の大幅な向上と、消費電力の低減が期待される。実用化に向けた研究を進めたい」と話している。



浴衣姿の看護婦による盆踊り

医学部附属病院で恒例の「花火まつり」

医学部附属病院では、入院患者へのサービスの一環として「花火まつり」を毎年開催し、今年で十一回目を迎えた。

八月五日、夜のとばかりが降りると、西病棟前広場で患者や職員など約七百人が、夏の夕べのひとときを楽しんだ。

花火まつりは、花火まつり実行委員会(診療科、看護部及び事務部の職員で構成)で企画・運営され、花火にかかる経費は職員の寄付で賄われている。

松浦病院長、入院患者代表及び看護婦代表による花火点火式で幕を開け、続いて患者さんが個々に点火し、広場は色とりどりの花火で染まった。また、浴衣姿の看護婦さんたちが、勤務の合間にぬって練習した盆踊りを披露し、花火まつりは一層盛り上がった。

最後に職員の手により、一日も早い全快を祈念して仕掛け花火や打ち上げ花火が約百発打ち上げられた。ドドンという音の波が、心地よく夜空に響きわたり、患者さんたちは手をとつて満足げに歓声を上げていた。(医学部総務課)

ど十五大学と、また、各学部などがミネソタ大学教育学部など二十六大学・二十八学部など協定を締結している。しかし従来は、活発な学生交流とは言い難い面もあったが、今秋から単位を相互認定する短期留学プログラムがスタートすることになった。

これは、従来の長期留学に重点を置いていた留学生受け入れ制度を文部省が見直すことになったためのもので、また、生徒数の不均衡が指摘されている米国、カナダなどからの学生を招致しようとするもので、中国地方では本学がトップを切って実施することになった。

十月に開講する本年度プログラムでは、総合

科学部、教育学部、学校教育学部、経済学部、工学部の五学部が「アジアの宗教と哲学」「日本スポーツ文化論」「日米貿易摩擦論」など十六の特別講座を開設。米国のミネソタ大、メリーランド大、フロリダ州立大、カナダのカルガリー大、オーストラリアのニューサウスウェールズ大から派遣は計十五人を受け入れる。広島大からの派遣は

来年秋に始まる。

なお、事業実施に伴い、ホームステイを希望する留学生の受け入れ先を探している。詳しくは留学生課(直通(0824)241618)まで。

中国五大学夏季大会終る —千田50年史写真展開催

山根進



旧貯金局の埠を利用してのメイン会場

七月十二日から十四日(水泳競技は六、七月十三日)は、山口大学主催で実施された中国五大学夏季大会が幕を降ろした。結果は、広島大学は総合成績で一位となった。

にかけて、山口大学主催で実施された中国五大学夏季大会が幕を降ろした。結果は、広島大学は総合成績で一位となった。結果は、広島大学は総合成績で一位となつた。各競技の成績は、バレーボール(男女)、卓球(女子)、ソフトテニス(女子)、水泳(男女)、卓球(男子)、バドミントン(男女)、硬式野球、陸上競技(男女)とオーブン種目の体操(女子)が一位となつた。

二位は、庭球(男子)、ソフトテニス(男子)、空手道で、以下、三位が卓球(女子)、弓道(男子)、四位が硬式野球、弓道(女子)となつていて。

参加選手や役員、応援団のご苦労をねぎらうとともに、冬季大会での健闘を期待したい。

上海体育学院と協定締結

教育学部と交流が行われている上海体育学院

と同大学は、中華人民共和国になつて最初に設立された歴史のある体育大学で、体操学部など八学部から構成されている。

庶務部人事課

平成八年度教職員レクリエーション年間行事計画
委員会承認 8.7.12

月	8月	10月	11月	12月	未定	3月	備考
行事名	ソフトボール大会	バレーボール大会	バスハイキング	ボウリング大会	東部地区 レクリエーション	不死鳥の発行	
実施日	8.21㈬ 8.22㈭ 8.23㈮休日	10.3㈫ 10.4㈬予定	11.3(木)予定	12.6(金)予定	三原地区 ボーリング大会予定		
場所	広島大学 (東広島地区) 西クラブ 南クラブ	広島大学 (東広島地区) 西体育館	三段跳び大会予定	広電ボウル予定	福山地区 球技大会予定 (テニス、バレーボール)		
編成方法	詳細はキャブテン会議で決定	担当 法医学部・経済学部 理学部	(参加部局が) (交替で担当)		第36号発行(900部)		
運営方法	担当 法医学部・経済学部 理学部	附属図書館	(参加部局が) (交替で担当)		実行委員会に委嘱して企画実施		
備考	学長杯争奪	学長杯争奪		学長杯争奪	人選は各部局に依頼		

平成八年度教職員レクリエーション年間行事計画
年間行事が次のとおり計画されておりますので、お知らせします。

庶務部人事課

「好きじやけん千田」という十円拡大コピーで二週間開催された。

また、空き店舗のシャツタードには、「学生が愛した街・千田」「学生を愛した街・千田」「かつて千田は学生が闊歩し、街全体が青春を謳歌していたキャンパスであった」のタイトルとともに、広大コロナブスが、広大跡地を学都広島の復活の拠点地に、との提案発表。

戦前の書生下駄の学生の姿、昭和二十八年の広大的全景、昭和四十年代の学生運動の写真も紹介。道行く人々は、懐かしそうに足を止めて見入っていた。

千田一丁目50年史編纂準備委員会事務局

山根進

